

《埼玉県立戸田翔陽高校の活性化・特色化方針》
(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程		定時制	学科	総合学科		生徒数	(男) 303 (女) 317	計 620			
ホームページ		http://www.shoyo-h.spec.ed.jp/									
アクセス		J R埼京線 戸田駅から徒歩約 5 分									
教育課程等 の特徴		○昼夜開講の 3 部制で、自分の学習スタイルや適性で通学の部を選んで入学する。 ○1 年次は 2 人担任制で手厚い指導、2 年次以降は 1 クラス 2 0 人前後の少人数クラス。 ○英国数は 1 年で習熟度別授業を展開、「主体的・対話的で深い学び」の授業も活発に実施。 ○他部の選択科目を履修、修得することにより 3 年間でも卒業できる。 ○検定資格だけでなく、ボランティア活動等の校外の学修も単位に認定。 ○ノーチャイム・ノーアナウンスにより、自己管理能力を育成。 ○基礎的生活習慣がしっかり身につく丁寧な指導。 ○校服着用、カウンセリング体制の充実、地域との活発な交流など。 ○充実した施設・設備として、コンピューター室が 2 カ所。介護実習室、陶芸室、自習室、憩いのラウンジなどがある。 ○H R 棟の他、令和元年度に特別教室棟もエアコン完備。 ○2 号館のすべての教室にプロジェクターを完備。									
活躍が顕著 な部活動		○女子体操部が国民体育大会において、埼玉県代表として活躍している。 ○その他多くの運動部や文化部が全国定時制通信制大会に出場して活躍している。									
特色ある 学校行事		1 学期 1 ・ 3 ・ 4 年次遠足へ、2 学期 2 年次は修学旅行を実施。体育祭と翔陽祭（文化祭）で大きく盛り上がる。その他に、夏休みにボランティア活動・インターンシップを実施。また、令和 3 年 4 月、敷地内に県南部地域特別支援学校（仮称）が開校するため、インクルーシブ教育を一層推進していく予定。									
家庭・地域 との連携		○日頃から緊密な家庭への連絡を行っている。 ○P T A ・後援会の活動は活発で、義務感ではなく楽しんで参加いただいている。 ○P T A は、学校行事への協力だけでなく後援会との日帰り研修旅行も実施している。 ○戸田市のイベントにも、生徒・教職員は積極的に参加し協力している。 ○令和 2 年度からコミュニティ・スクールの導入。									
進路	状況	四大	4 8 人	短大	3 人	専門	5 1 人	就職	4 4 人	その他	3 3 人
	傾向	「チャレンジさせて、面倒見ながら粘らせる。一段上を目指す。」という方針のもとで、生徒一人一人の学力に応じた指導を行い、進学では早稲田大学やMARCHクラスの大学にも合格者ができるようになった。同様の粘り強い指導で、就職状況も上向きである。									

(※生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

＜本校が求める生徒＞ 「成長したい」「学び直したい」という強い意欲と熱意を持った生徒。 本校の柔軟な教育システムを十分活かして、「夢を追い 空翔ける」チャレンジ精神を持ち、自分を高めようとする生徒。
＜入学者選抜のポイント＞ ＜詳しい入学者選抜基準はこちら＞ (「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)

埼玉県立戸田翔陽高等学校



基礎的な知識・技術の習得を基本に主体的に取り組む意欲、多様性を尊重する態度、他者と協働するための資質・能力を身につけた「人財」の育成を目指す学校

昼夜開講の3部制・定時制

- ☀️ I 部 (午前部) 8:40～12:25が中心
☀️ II 部 (午後部) 13:10～16:55が中心
★ III 部 (夜間部) 17:15～21:15が中心

自分の時間帯以外の授業も積極的に選択すれば**3年で卒業**できます。

総合学科

普通科と専門学科のいいとこ取り

福祉系科目

必修修科目

自由選択科目

自然科学系科目

ビジネス系科目

国際教養系科目

3年間で卒業できるし、4年間かけて卒業することもできます。

74単位以上の修得で卒業認定

本校の特色

- ① 1クラス20名前後。
きめ細かい少人数学級
- ② 習熟度・少人数指導
1年次の英・数・国
- ③ 協調学習・ICT活用など工夫
ある授業展開
- ④ 補習と添削指導
懇切丁寧な進路指導
- ⑤ 授業評価でわかり易い授業
- ⑥ 資格・ボランティア、校外の学習を単位認定
- ⑦ 校服着用・挨拶励行
基本的生活習慣の徹底
- ⑧ 検定による資格取得
- ⑨ ノーチャイム・生徒手帳の活用。
自己管理能力の育成
- ⑩ 充実のカウンセリング
- ⑪ 充実の施設・設備
・コンピューター室2つ
・介護実習室
・陶芸室
・特別教室等もエアコン完備
- ⑫ インクルーシブ教育の推進
特別支援学校との交流
- ⑬ コミュニティ・スクール
学校運営協議会の設置

＜南稜高校の活性化・特色化方針＞
(令和3年度～)

1 学校基本情報

学校基本情報											
課程		全日制		学科		普通科・外国語科		生徒数		(男)387 (女)691	計 1078
ホームページ		http://www.nanryo-h.spec.ed.jp/									
アクセス		JR 埼京線 北戸田駅 西口から 徒歩 15 分									
教育課程等の特徴		【普通科】1 年次基礎基本、2 年次より文理の類型制、「一般受験クラス」の設置 【外国語科】全体の 1/3 が外国語授業、2 年より第二外国語、各種検定試験(英検・TOEIC)の取組、多様な専門科目(時事英語、異文化理解など)、TT 授業・少人数授業 ※ALT2 名常駐									
活躍が顕著な部活動		【ボート部】 R1 全国高等学校総合体育大会県予選男子舵手付きクォドルプル第 2 位 全国高等学校総合体育大会女子ダブルスカル準優勝 国民体育大会女子舵手付きクォドルプル優勝 【バトン部】 R1 全国高等学校ダンスドリル選手権大会第 1 位 ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 第 2 位 【水泳部】 R1 関東高等学校水泳競技大会出場 【女子ソフトテニス部】 R1 関東高等学校ソフトテニス団体選手権大会ベスト 16 【美術部】 R1 全国高校総合文化祭出品									
特色ある学校行事		【全校】・修学旅行は沖縄へ民泊 ・オリーブフェスティバル(体育祭 6 月、文化祭 9 月)は、保護者や地域の方々の参加が多く盛り上がっている。 【外国語科】 イングリッシュキャンプ、スピーチコンテスト、国際理解講演									
家庭・地域との連携		・戸田西ロータリークラブとの連携 ・小学校との交流事業 ・戸田市との連携協力事業(植栽事業、市制周年記念事業、高校生議会) ・保護者との連携事業(レクリエーション、大学見学会など) ・福祉施設訪問、学警連と連携した街頭指導、三者面談									
進路	状況	四大	202 人	短大	12 人	専門	110 人	就職	12 人	その他	25 人
	傾向	埼玉大、埼玉県立大、立教大、明治大、法政大や学習院大など一般入試で受験し合格する者が増えるなど、上位大学を目指し受験勉強して、夢を実現する生徒が増えてきていることが大きな特徴です。									

(※生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

＜本校が求める生徒＞ ●自分の夢や目標に向かって、頑張ることのできる生徒 ●明るく元気があり、ルールやマナーを守ることのできる生徒	
＜詳しい入学者選抜基準はこちら＞ (「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)	

県立南陵高等学校 普通科・外国語科～生徒の成長物語～

社会で求められる汎用性の高い能力・態度・志向(ジェネリックスキル)を育みます。

特色

- ① 確かな学力 ●アクティブラーニング ●文系・理系の類型制 ●各種検定試験
- ② 豊かな心と健康な身体 ●部活動入学時全員加入 ●多彩な学校行事
- ③ 一人一人の進路実現 ●一般受験クラスの編制 ●面談週間 ●系統的キャリアガイダンス
- ④ 多彩な国際理解教育 ●2名のALT ●第二外国語の設置 ●多彩な国際交流事業
- ⑤ 充実した設備、学習環境 ●全教室冷暖房 ●ナイター設備 ●メディアセンター

南陵の強み

- ① 学校への高いコミットメント・満足度 → 頑張れる学校風土を醸成
行事・部活動の活性化へ→学校の勢いを加速
- ② 人間力を育む三つの力(アクション・シンキング・チームワーク)
目標への強さが行動の原動力 ※普通の生徒が普通に入学し普通以上の練習で偉業を達成
南陵生特有の行動特性(あいさつ、明るさ、思いやり) ～人と人をつなぎ成長を促進させる～

●タスク2 学校行事 県内一を誇るコミットメント

オーブフェスティバル 体育祭(6月) 文化祭(9月)
修学旅行 沖縄民泊
外国語科 イングリッシュキャンプ(10月) スピーチコンテスト、小学校英語交流
遠足(5月) ロードレース大会、芸術鑑賞会(11月) 球技大会(12月)

自己実現(3年)

部活動に燃えた3年間。高い目標を掲げて厳しい練習に仲間とともに頑張ってきました。努力した分だけ結果はついてくることを南陵で学びました。

部活動を引退し、進路へ意識を切り替えて自らの目標の実現へ。第一志望主義にこだわりをもって自己実現を果たす。明るく元気で何事にも高いコミットを実践する真の南陵生の完成へ。

自己発展(2年)

高校生活の中心学年。文武不岐。部活では努力の成果を発揮。学習は朝自習や隙間時間の活用。修学旅行では民泊と平和がテーマ。南陵生としての自分を限界値まで伸ばす。

自己発見(1年)

オリエンテーションや部活動の加入で南陵生への第一歩。体育祭・文化祭にコミットできればもはや南陵生。この過程で南陵生としての自分と向き合う。夢、希望、目標の設定。



●タスク1 部活動 目指すは日本一

ボート部 インターハイ2位 女子サッカー部 関東大会出場
バトン部 全国ダンスドリル選手権1位、USA全国大会1位
水泳部 関東大会出場
美術部 全国高校総合文化祭出品



●タスク3 国際交流事業

世界に目を向ける南陵グローバルゼーション

- ・世界のトビラ～9か国からの在日外国人講師～
- ・国際理解講演会、オーストラリア研修(クイーンズランド州)、
- ・日韓高校生交流(文科省委託事業)



教育目標

知性を高め、豊かな情操を培い、たくましい体力と気力を養い、21世紀の国際社会を自信と誇りをもって生きる若人を育成する。

目指す学校像

明るく伸びやかな校風のもと、主体的に学ぶとともに、豊かな心と国際感覚を育み、希望する進路を実現する学校

南陵の3年後の目標

- 普遍的南陵生像の確立
明るく元気、優しさと思いやり、そして謙虚な心
- リテラシーの育成～知識の活用、汎用性→自主的な学習時間の増大
- 部活と勉強と行事で頑張る南陵生～「やり抜く力」の育成～
- 学びの特質化～「勉強のできる人」から社会で「できる人」へ
アクティブラーニングの普及拡大、学校家庭クラブ活動の拡充